

オールジャンルの踊りの祭典

「2017にいがた総おどり」

2002年にスタートし、新潟の初秋の風物詩としてすっかり定着した当祭も、今年で16回目を迎え、244チーム・1万5千人の踊り子が、熱気溢れる演舞で新潟のまちを盛り上げました。台風の影響で開催自体が危ぶまれ、一部休止となった時間帯もありましたが、観客動員数17万5千人と、昨年を上回る多くの皆様から会場に足を運んでいただきました。

「2017にいがた総おどり」は、9月16日(プレ開催)・17日・18日の3日間に亘り開催され、よさこいやジャズ、チアダンス、ヒップホップなど多彩なジャンルの踊りが披露されました。

16日のプレ開催では、古町商店街を会場に恒例の「新潟下駄総踊り行列」が行われました。

本祭である17日には、新潟県内はもとより、全国12都道府県から集結した



会長賞受賞団体(早稲田大学踊り侍)による演舞



表彰を行う福田実行委員会会長

244もの団体・チームが、市内10会場で情熱的な踊りを繰り広げました。万代シテイ会場と古町7番町会場では審査が行われ、「新潟らしさ」、「豊かな表現力」、「情熱と迫力」などの観点から優秀チームが表彰されました。

実行委員会会長賞には「早稲田大学踊り侍(東京都)」が、新潟市長賞には「東海大学 響(神奈川県)」が、新潟県知事賞には「いずみ(五泉市)」が選ばれ、福田会長(当所会頭)、篠田市長、益田副知事から、それぞれ賞が授与されました。

最終日の18日は、台風18号による強

風の影響で午前中は開催を見合わせたものの、午後からは例年以上の来場者があり、最後は観客やスタッフも一体となって踊る「新潟総踊り」で3日間の祭を締めくくりました。

ご協賛・ご協力いただきました企業や商店街、関係者の皆様方には厚く御礼申し上げます。

新潟のメインストリートを彩る アート作品が一堂に集結!

東大通と榎谷小路間に面した金融機関等のショーウィンドーなどに、公募によって選考されたアート作品を展示する「2017 NIIGATA オフィス・アート・ストリート」を、9月30日から開催しています。

10月1日には公開審査が行われ、展示された計25作品の中から、今年の受賞作品を決定し、表彰を行いました。

展示期間は10月29日までです。ぜひ多くの芸術作品に触れながら、新潟の街歩きをお楽しみください。なお、主な受賞作品は次のとおり。

・最優秀賞

「まちのちそうー砂ノ行方知レズ」

(近藤 潤さん・新潟市在住)

・新潟商工会議所特別賞

「翔け にいがた」

(にいがたアグリクラフト・新潟市在住)

他受賞作品や展示場所など、詳しくはホームページをご覧ください。

(<http://niigata-oas.com/>)

空を身近に感じる1日 新潟空港で「空の目」イベント

航空に対する理解と関心を高めるために、9月20日に制定されている「空の日」を記念したイベントが、9月10日に新潟空港で開催されました。

当日は、空港の裏側を見学する親子バックヤードツアーのほか、航空会社の制服試着体験や麻葉探知犬デモンストラーションなど、空港や飛行機に関する様々な催しが行われました。

当所も実行委員会のメンバーとして、新潟空港整備推進協議会・新潟市と合同で、スクリーンに映し出されたCG映像を見ながら、操縦桿を使って飛行機の離発着操作を体験する「フライトシミュレーター体験」を実施。当日空港は多くの家族連れで賑わいました。



パイロット気分で操縦桿を握る子どもたち

新潟の良さをもっと知る機会に！
支社長等交流懇談会

9月25日、「支社長・支店長・営業所長等の交流懇談会」を鍋茶屋で開催しました。当日は、県内外から新潟へ赴任している支社長、支店長、営業所長の皆様と、当所の正副会頭など合わせて41名が参加しました。

懇談会に先立ち、新潟青陵短期大学人間総合学科助教の村山和恵氏が「新潟ライフ・プラスお酒でマスマス楽しむ」と題して講演を行いました。

また、懇談会の開会にあたり福田会頭は「新潟の良さを色々な角度から知る機会として本会を開催している。最終的には新潟のファンとなり、PRをしていただきたい」と挨拶しました。



地酒愛を語る村山氏

〈村山氏講演要旨〉

・女性に馴染みの薄かった日本酒を気軽に楽しむため、2009年に日本酒を楽しむコミュニティ「いがた美釀」を立ち上げ、女性限定で活動を始める。現在、会員数は120人を超え、年齢層は20〜60代と幅広く、最近はお酒からの入会も増えている。
・新潟は、県内の酒蔵数と成人一人当たりの清酒消費量が日本一であるのに加えて、美味しい水どころであることが、日本酒といえば新潟と言われる所以である。
・10月末から開催される「古町花街ぶらり酒」や例年3月に行われる「いがた酒の陣」などのイベント、さらに日本酒を楽しむ列車など、新潟にはお酒の様々な楽しみ方があるので、健康に気を付けながら存分に食と酒と街を楽しんで欲しい。

商売の新たな繋がりを探る

ビジネス情報交換会

ビジネスチャンスの拡大を図ることを目的に、異業種交流を行う「第3回ビジネス情報交換会」を9月28日に開催しました。

当日は、各社が事業PRを行った後、参加事業所同士が情報交換を行い、今後の取引に繋げる可能性を探りました。今回参加した27事業所のうち、11社は初参加で、「他業種の場合や考え方を知らなかった」「次回以降も参

加をした」となどの感想がありました。次回は11月に開催を予定しています。

来年こそ、国内推薦獲得を！

佐渡金銀山を世界遺産登録を応援

9月10日、佐渡金銀山の世界遺産登録を推進するイベント「佐渡金銀山を世界遺産に！GoGoフェスタ2017」を、新潟ふるさと村で開催しました。

【主催：当所、(一社)佐渡を世界遺産にする会、佐渡を世界遺産にする新潟の会／共催：新潟県教育委員会、佐渡市】

今年で4回目の開催となり、ステージイベントでは、佐渡に関するクイズや太鼓の演奏、歌謡ショーなどが行われ、当所は、佐渡の顔出しボードの設置やダーツゲームに協力するなど、イベントの盛り上げに一役買いました。



新潟ふるさと村でのステージイベント

大連市人民対外友好協会が来所しました！



挨拶を述べる呉智超副会長

9月4日、呉智超副会長を団長とする大連市人民対外友好協会の一行7名が、当所を表敬に訪れ、早福専務理事らと懇談を行いました。

同一行は、2017年4月に発足した「中国遼寧自由貿易試験区」に関する県内企業向け説明会のために来県したもので、当所では両市の経済情勢や投資環境などについて懇談を行い、友好を深めました。

中国で11番目となる同試験区は、大連経済開発区や保税區など、約60km²のエリアに亘り中国政府の各種支援政策があり、20周年となった新潟県大連経済事務所もあることから、県内の多くの企業から進出して欲しいとの要請がありました。